

平成30年度「Go! Go! エシカル」わくわく徳島プロジェクト

1. 研究テーマ

穴吹高校エシカル2018 ～考え、学び、行動しよう～

近年、環境や被災地の復興、開発途上国における生活改善等の社会的課題に配慮した商品・サービスを選択し、消費する「エシカル消費」への関心が高まる一方で、「エシカル消費」に対する認知度は、まだ低く、社会全体で「エシカル消費」への機運を高めていくことが重要である。

本年度は、全学年生徒を対象した講演会を開催し、「エシカル消費」の理念・目的や具体的取組等の基礎的・基本的理解を通して、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動することができる消費者の育成を図る。また、本年度より結成された「エシカルクラブ」では、地域と連携した活動を「消費者教育」の観点から再構成すると共に、消費活動における課題の抽出、他校や徳島県の先進的な取組の理解等を通して、「エシカル消費」の普及・啓発に貢献できる人材の育成を図る。

2. 学校の概要

学校名	徳島県立穴吹高等学校
所在地	美馬市穴吹町穴吹字岡3番地
校長名	前田 茂
担当者	森實 琴美 向井 和博

全日制普通科単位制高校として、多様な学校設定科目、専門科目を設定することで、生徒一人一人の進路に応じたカリキュラムを編成し、きめ細やかな指導を徹底している。平成30年5月1日現在の生徒数は194名。過去オリンピック選手を9人輩出している。

3. 本年度の具体的取組

①アンケートの実施

6月末、エシカル消費の理解や実践について、生徒を対象にアンケートを実施した。

品質・価格・節約等、自己の利害に絡む消費に関しては肯定的評価が高かったが、エシカル消費の認知をはじめとするキーワードの理解や、日常の実践に関する値が非常に低かった。



しかしながら、社会貢献の意欲を要する生徒が78%存在し、進路実現においても地元志向が強いため、郷土愛を醸成する取組がエシカル消費教育の切り口になると考えた。



②ラベンダーを活用した匂い袋の製作

6月29日(金)、エシカルクラブ部員が、ラベンダーの「匂い袋」を製作した。ラベンダーは、養護教諭が保健室に置いていたものであり、花の匂いに一定のリラックス効果があると言われていたことから、匂い袋に加工することになった。

細かく刻み、数ヶ月乾燥させた後、フェルト袋を編み、かわいい作品に仕上げた。



食品だけでなく、全盛期を過ぎた草花も、無駄なくリユースできることが実証できた。また、地産地消の観点からも、エシカル消費の具体例として、一定の示唆を与える試みであった。



③「エシカル消費講演会」の開催



11月19日(月)、四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科教授 加渡いづみ氏を講師として招聘し、「エシカル消費講演会」を開催した。食品ロスやプラスチックゴミの現状、寄付付き商品やフェアトレードの意義と具体例、エシカル消費の3つの視点である「環境を思いやる」、「人や動物の権利を守る」、「地域を意識する」等についてわかりやすく説明をしていただいた。



④エシカルクラブ・ワークショップの開催

11月19日(月)、「エシカルクラブ」の生徒を対象に、ワークショップを実施した。原料・施設・技術・財力等に格差をつけたグループ(国)に分かれ、交渉や国内努力をしながらお金を稼ぐという「貿易ゲーム」を通して、フェアトレードの意義を体感した。生徒からは、「交渉・連携・協力が機能すれば、先進国も途上国も裕福になれる!」という感想が聞かれた。

私たちの毎日の行動が「未来」と「世界」を変える!

Think globally!
Act locally!



⑤オーガニックコットンを利用した座布団製作

10月より、オーガニックコットンを活用した座布団製作を開始した。家庭科教員から、フェアトレードの意義や商品についての話を聞いた後、エシカルクラブのメンバーが製作した。



Let's エシカル!

⑥地域に出向いての交流活動 ～ We Love Tokushima ～

長年に渡り防災風鈴や座布団を置かせてもらっている穴吹駅より、平成29年度、感謝状をいただいた。今後は、防災風鈴に加えて、オーガニックコットンで製作した座布団も置かせていただく予定である。



ラベンダーの匂い袋は、穴吹町のグループホーム「清流の里」の利用者にプレゼントした。

Let's 地域貢献!